

催吐リスク moderate

腸 FOLFIRI+PAN6/d1/c14d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間 (分)	投与日(day)
クロルフェニラミンマレイン酸塩	注射	5	mg		1
パロノセトロン	注射	0.75	mg		1
デキサメタゾン	注射	6.6	mg 生食	100 mL 30	1
ベクティビックス	6	mg/kg	生食	100 mL 60	1
イリノテカン	150	mg/m ²	5%糖液	250 mL 90	1
レボホリナート	200	mg/m ²	5%糖液	250 mL 20	1
5-FU	400	mg/m ²	5%糖液	全開 mL 50	1
5-FU	2400	mg/m ²	生食	mL 46h	1-3

内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)好中球数 $\geq 1,500$ 、血小板数 $\geq 75,000$ 、下痢・口内炎 $\leq \text{Grade} 1$ 、皮膚毒性 $\leq \text{Grade} 2$

Ⅲ. 減量基準 (例:Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

パニツムマブ(ベクティピックス)

Grade3 以上の皮膚毒性発現時、次回より投与量を以下の通り減量

皮膚障害発現時の本剤の投与量	本剤の投与	投与延期後の状態	本剤の用量調節
6 mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade 2 以下に回復 ⁽²⁾	6 mg/kg 又は 4.8 mg/kg
4.8 mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade 2 以下に回復 ⁽²⁾	3.6 mg/kg
3.6 mg/kg	投与中止	—	—

Ⅳ. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37.5%)

海外の臨床成績(FOLFIRI+パニツムマブ:20050181 試験)にてイリノテカンとの併用における有効性と安全性が評価されている。

【参考:grade3 以上(20050181 trial)】

皮膚毒性:37%、好中球減少症:20%、下痢:14%、口内炎:8%、

脱水:3%、Infusion reaction<1%